

翼-ぱあーる



早朝、山頂に乗って牛の放牧に出るアミン君(5年生)

● 第3回総会&現地報告会

● 「現地報告会」大阪にて開催

● 【別紙】第3回総会資料

会員の皆様、新年明けましておめでとうございます。2006年はどんな年だったでしょうか？ 3年目を迎えた山の学校を支援する会は、春の公式訪問、秋の総会、ミニ・パネル展と報告会の開催など、さまざまな形で活動を続けることができました。代表として皆様にご心よりお礼申し上げます。

しかし、アフガニスタンにまだ恒久的な平和が訪れず、戦火が消えていないことに心が痛みます。タリバーン壊滅を旗印に、経済再建よりも、地域住民を巻き込んでいく米軍の軍事作戦は国民同士の反目を招き、再建をさらに遠のかせているようです。こんな時ほど、戦争の惨禍を経験した日本が、平和への環境づくりのお手伝いができればいいのになあと、思います。

雪に覆われた山の学校は今、冬休みです。カプールの親戚を訪れている子どもは大好きなテレビを見ているかもしれません。ポーランドの子どもたちは羊や牛の世話でかじかんだ手をこたつで温めていることでしょう。春が近づくと、子どもたちの心はウキウキとします。もうすぐ学校が始まるからです。雪解けのぬかるんだ道を子どもたちが元気にいく春はもうすぐです。この子どもたちの笑顔がアフガニスタン全土に広がる日を夢見て、これからも会員の皆様と支援を続けていきたいと思えます。

長倉洋海

第3回総会& 現地報告会



2006年10月9日
東京・武蔵野芸能劇場

総会での質疑応答から

Q…パネル展を自分もやってみたいのですが、どんなことが必要なのでしょう？

A…費用のご説明となりますが、まずパネル貸出料が約24枚をセットとして1万円、そして送料です。いずれも状況によってご相談に応じます。また、会場を借りる場合は施設使用料、さらにイベントフライヤー作成費用などもかかると考えていいでしょう。(森)

※パネル展開催の詳細は事務局までお尋ねください。

Q…ベルシャ語の本を贈っているということですが、その種類や内容を教えてください。

A…絵本、読みもの、学習に使えるような科学図鑑などいろいろです。現在は本の種類が多いイランで入手していますが、そのうちアフガニスタンでも本が多く出版されるようになったら、ぜひそれらも子どもたちに贈りたいと思っています。(長倉・比留川)

Q…活動報告の中にNGO助成金を積極的に申請する、とありますが、今まで助成金対象にならなかった事例もあるというのは、活動が足りない、あるいは、会の規模的な問題なのでしょう？

A…医療活動や飲み水の確保など、緊急性が高いプロジェクトの方が、優先して助成金を受けられるようです。また、以前助成金を受けた団体の方が翌年も継続して受けやすいということもあるようです。(長倉・比留川)

Q…2014年までの10年間でどんな支援をしたとか、10年後現地がどんな姿になってほしいというようなビジョンはありますか？
A…20年も戦争が続いた国は復興も容易では

「現地報告会」 大阪にて開催

2006年10月21日

第3回大阪・現地報告会は、高槻市の現代劇場文化ホール展示室で開催しました。

参加者は会員30名、一般45名の計75名。名古屋・春日井・神戸・堺など遠いところからもご参加いただきました。長倉代表の丁寧な説明と写真スライドで「山の学校の状況と、なぜ支援するのかがよくわかりました」と、うれしい感想。質疑応答も活発に手が挙がり、中にはNHK「おはよう日本」(10月15日放映)を見ていた時、息子さんから「この長倉さんの影響で自分は写真家になったんだよ」と知らされ、早速興味を持って参加申し込みをされたという方もおられて、会場が和みました。交流会ではアフガニスタンのクルミやレーズン、紅茶を紹介し、神戸のスライドトークを取材した「ボランティア21」のビデオを観ました。今回、会員の方々に大きなサポートをいただきましたが、特に地元・高槻にある今村学園高槻幼稚園は1990年に園で写真展をして以来、長倉代表と交流があり、その今村学園関係の皆さんも今回、準備・本の販売・片付け、と大活躍でした。皆さんありがとうございました。入会者数は6名。これからも会員の方々との親睦を深めながら、支援の輪を広げていきたいですね。

(辻内奈穂美)

恒例の総会・アフガニスタン現地報告会も3回目。前年と同じ会場ですが、確保できたのが劇場のみということで、やむをえず少々手狭なスペースでの開催となりました。今回より一般の方も総会への参加が可能になり、総会・現地報告会あわせて、会員58名、一般74名、計132名にご来場いただきました。

当日、NHK「おはよう日本」の取材も入り、その対応など準備に追われる中、長倉代表の挨拶とともに開会。副代表・比留川による活動報告では、助成金申請や図書プロジェクトの経過、またスタートしたばかりの写真パネル貸し出しの模様や分割会費未納の問題等について報告しました。

会計・森からは、相変わらずシベアな会計状況の中、会員の方々から寄せられた未使用切手により国内通信費や会報送料を大幅にまかなうことができたという、うれしい報告ができました。(活動内容や会計報告の詳細は同封の資料をご覧ください)

また、質疑応答には例年よりも時間を多くとり、その中ではいろいろな討論がありましたので、以下抜粋してご紹介します。

総会アンケートより…ご質問と回答

Q: 東京近郊の会員の方がどれくらいいるかわかりませんが、もっと参加者が来てほしいですね。寄付金はストックされているのでしょうか。ずっとあてにするわけにいかないでしょうか。車は買ってもしないのでしょうか? ◀ 寄付金は年間経費不足分の補てんと、車の買い替えや校庭用地入手等のためにストックしています。

Q: 日本の小学生や中学生との交流の場をつくることができたらよい。◀ 今までに日本の小学生と山の学校の子供たちの絵の交換などしてきました。将来はビデオレターの交換などでできればと考えています。

Q: 10年後の子どもたちがどんな成長を遂げたか、一人でもいので追いかけて欲しいです。その成長を見守ることしか出来ないけど、その報告が聞けたらすごく嬉しいです。◀ 長倉代表が訪問の度に子どもたちの写真をたくさん撮ってきていますので、いつかそのようなご報告ができればと私たちスタッフ一同も考えています。

Q: 活動についてもう少し具体的なビジョンがわかれば支援者が増えるのかもしれないと思いました。◀ 最終的には、こちらが支援を行わなくても子どもたちが学習できる環境が整っていることが目標です。今は山の学校でも、カブールやバザラック等下の町の子どもたちと同じレベルの教育を受けられるように支援しています。

Q: 交流会には出席できず残念でした。現地報告会で会員以外の方で会場が満員になり、会員になってくれたらと思いました。カンパ箱を受付において欲しかった。◀ カンパ箱の設置は会場の規定によって不可能なところもあります。制約のない会場であれば設置したいと考えています。

Q: 折に触れ友人に会のことを話し、山の学校ポストカードを送っていますが、もの好きと見られてしまいます。新規会員勧誘できず申し訳ないです。会費とは別の寄付金を項目別に募集なさると寄付しやすいです。例えば、車の維持や図書等。◀ 積極的に活動していただき心より感謝いたします。会費以外の項目でも寄付を募っています。現在は女性の識字教育、校庭用地があります。

ほかにもたくさんのご意見をいただきました。いずれも今後の運営に役立てたいと思います。ありがとうございました。

民族衣装チャパンを試着。「和服を着た時のような温かい気持ちになります」



「書いてみようぶり語」は、山の学校の子どもたちの言語であるぶり語で、実際に自分の名前を書いてみようぶりという企画です。日本語とは逆に右から書くことに驚き戸惑いながらも、関心をもって書かれる方が多かったです。何度もスタッフに確認しながら書くなど、熱心に取り組まれる方の姿も印象的でした。

劇場外のロビーでは、ささやかですがアフガニスタンで購入した干しぶどうとナッツ、そしてチャイをご用意。(岩動 恭)



人でいっぱい会場。お茶のコーナーは特に人気

参加した皆さんの声
▼ 総会には初回から参加しており、今回で3回目です。会が少しずつ大きくなってきていることを実感しています。(女性・会員) ▼ 初めて参加しました。代表の話に感激！いつも会報を読むだけでしたが、参加してメンバーであることを実感しました。アフガンは大変な所、援助のあり方を考えさせられました。(女性・会員) ▼ 「書いてみようぶり語」で民族衣装を着て皆で着るものでしょうか。それを自分も着ることで、何か仲間意識みたいなものを感じました。(男性・会員) ▼ 1年くらい前に父が読んでいた本で、長倉さんを知りました。大学で国際関係を勉強しており、世界のいろいろなことを知りたいと思いが加りました。「書いてみようぶり語」が面白かったです。(女性・一般)

ふれあい………交流会レポート
総会・現地報告会に続き、劇場ロビーで交流会が開かれました。ステージ上の両サイドには、「書いてみようぶり語」を書いてみようぶり語のコーナーが設けられました。「書いてみようぶり語」は、アフガニスタンの女性が着ている頭から足元まで全身を覆うブルカ(またはチャドリ)と、男性の装束チャパンを実際に着てみようという企画です。長倉代表が現地で購入した本物のその2種類の装束を十数名の方が試してみました。目の部分だけがメッシュのようになつてブルカは、

その視野の狭さ、見にくさと歩きにくさに驚かれる方が多かったようです。また、テキスタイルとしての美しさに関心を持たれた方もいらっしゃいました。「書いてみようぶり語」は、山の学校の子どもたちの言語であるぶり語で、実際に自分の名前を書いてみようぶりという企画です。日本語とは逆に右から書くことに驚き戸惑いながらも、関心をもって書かれる方が多かったです。何度もスタッフに確認しながら書くなど、熱心に取り組まれる方の姿も印象的でした。

用意しました。干しぶどうはその自然な作り方ゆえに細かい枝なども混ざっていますが、甘くて太陽の匂いが感じられるような味です。また「このお茶には何か入っているのですか? いい香りがしますね」と、現地でも飲まれているようにカルダモンを入れたチャイも楽しんでいただけようです。今回も会員の皆さまからケーキ等手作りのお菓子の差し入れをいただきました。お心遣い、ほんとうにありがとうございました。

今後この交流会が、より多くの人たちとつながり、そのつながりを広げる機会になればと願っています。(岩動 恭)

事務局から

- 分割会費未納の方へ 2006年度分割会費未納の方に郵便振替用紙を同封させていただきましたので、指定期日までに入念に納めていただきますようお願いいたします。
- 会員増にご協力を！ 現在会員数は760人。会員を増やすことは安定した支援を継続するために大切な活動です。今一度、皆様のご友人やお知り合いの方に働きかけ、会員増にご協力をお願いいたします。ぜひ「アフガニスタン山の学校支援のお願い」をご活用ください。ホームページからダウンロードできます。また、ご連絡いただければ郵送もいたします。
- 支援助成金・補助金情報求む！ 積極的に助成金や補助金を受けたいと考えていますので、関連の情報がありましたら、ぜひお知らせください。
- 週間金曜日「手帳」雑誌「週間金曜日」手帳2007の「市民のための電話帳」に、週間金曜日が選んだ国際支援団体のひとつとして本会が掲載されました。
- 書き損じはがき・不要切手 多くのご提供をいただき大変助かっております。引き続きご協力をよろしくお願いします。
- 会報「ばあーる」制作スタッフ募集！ 編集やDTPの経験がある方、東京近郊にお住まいの方を歓迎します。

「ばあーるの日」

サポートスタッフ募集中!

会報発送作業お手伝いのボランティアを募集！作業日は原則として4・8・12月(今回は1月でしたが…)の土曜か日曜午後2~3時間程。東京・多摩地区にて、スタッフ皆で楽しく作業していますのでお気軽にご参加ください。ご希望の方はEメールにて、お名前と参加希望の旨をお知らせください。追って詳細をご連絡します。

山の学校でマジックショー!!

日本エスプレントマジック友好協会の福田俊弘さん、勤務先のボランティアアフロジエクトの一環として、山の学校でマジックショーを披露してくださいました。福田さんからのレポートです。



アフガニスタン到着初日に安井さんと打ち合わせ後、翌日早朝カブールから車で約4時間、アフガンの田民的指導者マズードの眠るパンシール渓谷の険しい山道を登り、学校に到着しました。先生方とさっそく話し、休み時間にマジックショーをすることに。午前10時20分、休み時間になると校舎の狭い中庭に全員集合です。子どもたちは初めて見るマジックに興味津々。ぬいぐるみのヘビが突然大きくなった、イタチがハンカチから出たりするたびに、悲鳴をあげたり、大笑いをしたり、本当に楽しそうでした。子どもたちのキラキラした瞳がとても印象的でした。終わりに子どもたちへ、風船と鉛筆をおみやげとして渡しました。

和光国際高校文化祭・保健委員会「長倉洋海ミニ写真展」

「皆さんにとって『幸せ』とは何ですか?」という呼び掛けに始まる展示。入り口近くでは担当の生徒さんが廊下を行き交う人々に盛んに声をかけ、おかげで広い教室を目いっぱい使った会場には来場者が途切れませぬ。開催のきっかけは同校での長倉代表講演会。その後、保健委員の生徒48名が「写真で受けた感動を同じように写真で広げたい」と話し合い、文化祭でパネル展開催を決定。「試験前後の準備は大変でしたが、皆頑張りました。展示用の板を借りるのに、1キロ離れた公民館から皆でリヤカーを引いたんですよ」と顧問の岡野清美先生。

「長倉洋海パネル展」東京・乗 11/12~17 温熱療法の療術所を営まれている杉並区在住の渡辺典子さんは、ご自宅にある療術室などの壁にパネルを飾りました。ログハウスのようなイメージさえするご自宅内部は、木の温もりが感じられるやさしい雰囲気です。子どもたちの顔もまた違った風に見えます。「何より私が一番楽しんでます。この写真から与えられるものも多いです。」と生き生きと答えてくださった渡辺さん。患者さんにも好評だったそうです。



「音響空間研究会」という会の代表でもある横浜在住の田口和典さんは、その研究会の仲間と聞く「音包」というイベントの催しの一つとしてパネル展を開きました。「音楽以外のジャンルも取り入れたいと考えていた。人道支援の主旨からこのパネル展にピンときたんです」と田口さん。ピルの2フロアの各部屋で、電子オーケストラ演奏、絵画展などが催される中、1階(の一角)で行われたパネル展は、多くの来訪者に見ていただけたと思います。

「長倉洋海パネル展」東京・乗 11/12~17 温熱療法の療術所を営まれている杉並区在住の渡辺典子さんは、ご自宅にある療術室などの壁にパネルを飾りました。ログハウスのようなイメージさえするご自宅内部は、木の温もりが感じられるやさしい雰囲気です。子どもたちの顔もまた違った風に見えます。「何より私が一番楽しんでます。この写真から与えられるものも多いです。」と生き生きと答えてくださった渡辺さん。患者さんにも好評だったそうです。

「音響空間研究会」という会の代表でもある横浜在住の田口和典さんは、その研究会の仲間と聞く「音包」というイベントの催しの一つとしてパネル展を開きました。「音楽以外のジャンルも取り入れたいと考えていた。人道支援の主旨からこのパネル展にピンときたんです」と田口さん。ピルの2フロアの各部屋で、電子オーケストラ演奏、絵画展などが催される中、1階(の一角)で行われたパネル展は、多くの来訪者に見ていただけたと思います。



ムルサルさんのカブール通信

12月に入り、一気に冬に突入したカブールです。もう3日間もずっと雪が降り続き、自宅の庭も真っ白です。カブールでさえこんな状況、山の学校は、すごい大雪に見舞われていることと心配になります。ちょうどアフガンでは、学期末の試験の最中。山の学校の子どもたちがちゃんと試験が受けられているのかどうか? インシャアッラーです。

今年は、タリバン政権が陥落して5年。再びアフガン各地で干ばつや洪水などの自然災害で多くの死者が出ています。一方で、路上生活をする避難民の姿も首都カブールでは、ほとんど見なくなりました。これも、ほんの少しですが、平和になったしるしでしょうか。しかし、南部や東部は、いまだ戦闘状態。タリバンをはじめとした反政府勢力が息を吹き返したように、外国軍やアフガン警察、国軍部隊を相手に戦闘中です。イスラムに反するにもかかわらず、今年に入り100回以上の自爆テロ事件が起り、17人の外国人兵士や200人もの罪のない市民が犠牲になっています。アフガンが、イラクのような泥沼状態に陥らないことを祈るばかりです。2007年は、日本とアフガンの国交100周年です。そんな記念すべき年が、平和で穏やかに迎えられるように願っています。

2006年12月4日
カブールより 安井浩美

ポータルの小さな仲間たち



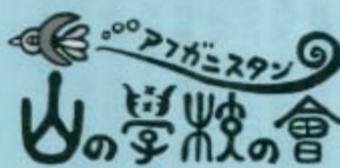
ザベルくん 3年 好きなもの・車 将来の夢・大工
サディアちゃん 4年 好きなもの・テレビ 将来の夢・医者
アタワラくん 4年 好きなもの・花 将来の夢・先生

「話そう!タリ語」

イーラー(アー)バディヘッド
「これ(おれ)をくたから
اینرا (آن) بدید

چند است؟
فرد است
فرد است؟

参考文献: 嶋岡尚子著『旅の指さし会話帳 アフガニスタン』 タリ語: 高橋美香



アフガニスタン 山の学校支援の会
〒187-0032 東京都小平市小川町 1-1071-15 比留川 気付
FAX / 留守番電話: 042-345-7805
HP: www.h-nagakura.net/yamanogakko
E-mail: info_yamanogakko@yahoo.co.jp
郵便振替口座: 00160-1-667404

「長倉洋海 最近今後の活動」
●2/27、3/4、オリジナルプリントチャリティセール 売上金は経費を除き、山の学校支援に充てられます。
●写真展「ザビット」展、家を建てます。
●ギャラリ大通美術館(札幌市中央区) 電話: 011(6442)3268 奥村 3/3・4 トーク&サイン会
●4/28、5/17 写真展「西安からイスタンブールまで 長倉洋海の見たシルクロード(仮題)」コニカミノルタプラザ(東京都新宿区)
●4月末、「君に伝えたい希望(仮題)」(バジリコ出版)を刊行予定

「アフガニスタン山の学校支援の会」は、写真家・長倉洋海が取材活動を通して出会った、パンシール渓谷ポータルの子どもたちの教育支援を目的として設立された非営利の団体です。2004年2月に設立、以後2014年3月までの約10年間にわたり活動を続けていきます。

「編集後記」お元気ですか? 今回は会員の皆さんはじめ、会に関わるいろんな方の声や活動を紹介しているのですが、会が少しずつ広がっているなあ、と私たちも会報を作りながら実感しました。今年もよろしくお願ひします!

編集 ● 岩崎崇 佐々木瑞紀 水間貞紀
題字 ● 近藤理恵
印刷 ● (有)アドタック